

視点 View Point

ひらのただのり 平野 忠範 氏

長野税務署長

歴史と伝統ある長野税務署の第82代署長を拝命し、身の引き締まる思いです。国税庁、国税局、税務署の使命は、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことにあります。常に納税者目線に立ち、納税者の利便性を向上するため、e-Taxの普及、定着に努めるなど、行政事務の改善に取り組み、職員一丸となって適正かつ公平な賦課及び徴収を実現します。

適正・公平な課税及び徴収の実現に向けて 職員一丸となり業務を遂行してまいります。

事務処理の業務改善を 常に意識して

長野税務署長に就任されての思い、抱負をお聞かせください。

平野 長野税務署は明治29年に設置された歴史と伝統ある税務署です。管轄は、長野市をはじめとする長野県北部の7市町村に及びます。豊かな自然に囲まれており、東は上信越国立公園、北は飯綱、戸隠、黒姫、斑尾、妙高の北信五岳がござい。千曲川、犀川で形成された肥沃な平坦地から中山間地に及ぶ変化に富んだ地形では、果樹、野菜をはじめ農業が盛んです。1400年の歴史を刻む善光寺とその門前町をはじめ、歴史と文化の香りも高く、観光でも賑わい、オリンピック開催都市として国際色も豊かです。さらにものづくり産業も経済の牽引役となっています。こうした土地の第82代長野税務署長を拝命し、たいへん光栄であり身の引き締まる思いしております。

私は、これまで国税庁で確定申告システムの構築に関わった経験などから、システムへの思いがたいへん強くあります。税務行政全体がDXを活用した業務のあり方の見直しに取り組み、長野税務署の職員に向けても、ペーパーレス化を徹底するとともに、事務処理の業務改善を常に意識するように話しています。

初めて長野県に赴任したのですが、関係団体の皆様から、地元の特産品やお酒などおいしいもののお話を伺える機会が多くなりました。休日には自分の足で食べに行ってみようと思います。

租税の意義や役割、 税務行政へのご理解を

初めて長野県に赴任したのですが、関係団体の皆様から、地元の特産品やお酒などおいしいもののお話を伺える機会が多くなりました。休日には自分の足で食べに行ってみようと思います。

税務行政の将来像についてお話しした3本柱の「『納税者の利便性向上』を図るうえで重要なのは、納税者目線を徹底することです。たとえば、e-Taxにつきましても、皆様のご協力をいただきながら、一層の普及、定着に努めるところです。今後もe-Taxをより多くの方に利用いただけるよう、引き続き積極的な周知・広報と利用推奨に取り組んでまいります。

また、納税や納税証明書の手続きにつきまして、ダイレクト納付や振替納税といったキャッシュレスによる方法や、納税証明書オンライン請求といった方法で、ご自宅から手続きができます。税に関するご相談も、税務署においでいただくだけでなく、済むようにオンライン相談の充実も図っています。個人の方の確定申告もスマホで行えます。本誌の読者でいらっしゃる事業者の皆様におかれましては、e-Tax申告と併せてご活用いただけますようお願いいたします。

PROFILE

1964年生まれ。1983年東京国税局採用。国税庁参事官主任税務分析専門官、関東信越国税局総務部情報システム課長、館林税務署長、関東信越国税局総務部次長等を経て今年7月から現職。

問もなく「税を考える週間」が始まります。これからの税務行政についてお聞かせください。

平野 おっしゃるとおり、国税庁、国税局、税務署では毎年11月11日から17日までの1週間を「税を考える週間」とし、皆様に租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、様々な広報広聴活動をしています。

昨年、長野駅改札口において、長野グランセローズの選手の皆さんとともに、通勤通学で駅を利用する方に税金の仕組みや確定申告の方法などをまとめたチラシやティッシュを配布しました。そもそもわれわれの使命は、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現すること」にあり、これを達成すべく「適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」をはじめとする任務にあたっています。さらに国税庁では今、税務行政の将来像に「納税者の利便性の向上」「課税・徴収の効率化・高度化」「事業者のデジタル化促進」の3本柱を掲げて、先ほど申し上げたように税務行政のDX化を進めています。

「税を考える週間」はこうした税務行政のあり方についても知っていただく良い機会です。今年も

昨年同様街頭での広報活動、関係団体と共催した税の標語や税の作文の優秀作の発表などを行うことで、納税者の皆様に日常生活と税の関わりを正しく理解していただき、納税意識の向上を図ることに努めます。

ところで、昨年10月1日からインボイス制度が開始され、本年1月1日から新たな電子帳簿保存制度が開始されました。インボイス制度は、複数税率の下でも適正な申告・納税のために不可欠な制度です。電子帳簿等保存制度は、国税当局が推進する事業者のデジタル化に不可欠な制度です。制度の円滑な定着に向け、引き続き事業者の方々に寄り添った丁寧な対応に努めてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

納税者目線を徹底し 納税者の利便性を向上

今後の活動を通じて、長野市の経済や地域振興にどのように寄与していけますか。

平野 新型コロナウイルス感染症の拡大では、観光業をはじめとする産業が打撃を受け、長野地域の経済に多大な影響がありました。最近になってインバウンドも含め人の流入が戻っていますし、観

DATA

長野税務署
[所在地] 長野市西後町608-2
[TEL] 026-234-0111

横顔

出身は新潟県三条市。趣味は海釣り。長野に赴任後も休日には直江津まで職員と釣りに出かけました。宿舎近くの日帰り温泉へ歩いて通うのも楽しみのひとつ。